



七飯町ホームページ

七飯町



虹の小沼

遊覧船はもちろん、JRの車窓や国道からも垣間見られる大沼だが、カヌーからしか眺められない絶景がある。例えば、水深が浅く遊覧船の入れない小沼から、湖面に映った逆さまの駒ヶ岳を望む。小さなカヌーだけが湖を独占しているような気分を味わえる。

早朝のツアーでは、運が良ければ霧に朝日が反射し、水面に虹が出る「彩光現象」に出会うこともあるし、夏の夜には蛍の群れが踊る様子が湖面に鏡映しになり、蛍のやさしい光に包まれることも。「お薦めの季節や場所を聞かれることが多いけど、それはお客様の決めること」。大沼の持つ様々な顔を見つけてみてはいかが。



また、西洋農法がいち早く伝わった七飯町は、リンゴをはじめとする果樹の栽培や酪農が盛ん。道の駅『なないろ・ななえ』には特産品を使った地元の意味が勢揃い。お土産もお見逃しなく！

イクサンダー大沼カヌーハウス 代表 渡辺 邦浩 さん

「ヒゲさん」と親しまれる大沼の名物カヌーガイド。ガイドを始めて約30年、人柄を慕って訪れる常連客も多い。

生まれも育ちも七飯町は大沼の畔。大学卒業後は青函連絡船の乗組員として働いていたが、青函トンネルの開通に伴い、転職して上京。数年でUターンを決め、叔父と父の経営するユースホステルに携わることに。

カヌーとの出会いは約40年前、木工作家の叔父が作ったカヌーに乗ったことだ。「僕は

元々船が大好き。目の前に湖、傍らにカヌー、漕がない手はないと思った」。初めはユースホステル経営の傍ら、ホステルや近隣のホテルの宿泊客向けにガイドをしていたが、1999年に独立し、カヌー専門のガイドに。

イクサンダーに接客マニュアルはない。客との会話や雰囲気から、案内する場所や説明する内容を変える。「若い子の一人旅だと、人生相談になったりもします。もやもやを吹き飛ばすのも、大沼の自然の力なのかも」

イクサンダー大沼カヌーハウス



七飯町大沼町22-4
☎0138-67-3419



雲駒

山と森と湖の美しいまち



夕焼け